

平成20年3月18日

京情協 地域情報化委員会（19年度 第7回） 議事録

開催日時：平成20年3月18日（火） 17:00～18:10

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 1階 会議室

参加者：馬場、古川、小林、木下、松本（オブザーバー）、福本、桧山、中川、桂田（敬称略）

配布資料：地域情報化委員会（第7回）議題、添付資料①～資料⑤

議事：

1. 今期の活動計画に対する進捗状況（中川から報告）

1) リクルートにおける大学との連携（資料①、②）

- ・今期の活動内容はほぼ実践した。活動残は、KVBC 主催の合同企業説明会に共催で参加するかどうかの最終判断のみ。KVBC の人材ネットワークプロジェクトで進めている合同企業説明会の詳細が確定次第、判断する。来訪者数が少ないのではないかと懸念はあるが、一度参加することにより問題点などが見えてくる事も考えられる。費用対効果を見極めた上で、PR するかどうかを検討する。

2) IT コンソーシアム京都関係

- ・報告事項なし。

3) 京都自律移動支援プロジェクト実行委員会関係（資料③）

- ・2/28 に2回目の委員会が開かれ中川が出席した。東京大学の坂村教授を委員長にオブザーバーも含め30名程が出席。実証実験が京都府立植物園（3月）、宇治橋周辺地域（9月中旬）で行われる予定。障害のある方に配慮したサービス提供に重きを置いているため、コミュニケーター（情報端末）と、手首に装着するタグリーダー（バイブレーションでICタグプレートがあることを知らせる端末）の2台を使う事になる。京都府立植物園の実証実験に正副委員長が参加予定。他に参加可能な方がいればぜひ参加し感想や意見を中川まで頂きたい。3回目の委員会は6月に実施予定。

2. 来期の活動計画について（資料④、⑤）（中川から報告）

- ・資料④の活動概要をベースに来期の活動内容を検討していく。正副委員長会であがった資料⑤のようなアイデアについても今後検討していきたい。今期の活動を継続する項目については資料⑤の通り担当を決め、担当者がメインとなって進めていくこととする。

1) オープン・セミナーの開催

- ・地域情報化委員会では新春セミナーを担当。夏頃に検討を開始したい。事業推進委員会でオープン・セミナーについては各委員会共通のテーマを扱ってはどうかとの話が出たため、場合によっては共通のテーマで検討することになるかもしれない。

2) 京都試作センター(株)の動きに着目

- ・今期は殆ど活動なし。活動があった際の情報収集の体制だけは整えておく。

3) 京都自律移動支援プロジェクト実行委員会に委員として参画

- ・中川が今期に引き続き担当。2年間で計4回の委員会開催予定。

4) IT コンソーシアム京都の部会活動のウォッチング

- ・今期は4部会のうち2部会は全く活動がなかったが、来期も活動は存続するとの事であっ

たため、担当を決めてウォッチングを継続する。

5) 大学と連携

- ・今期のメイン活動であったが、来期も継続して活動予定。大学訪問ヒアリング結果を踏まえ来期の活動内容を検討する。

6) 行政（京都府、京都市、京都府中小企業技術センター）と連携

- ・今期は特に活動がなかったが、来期に何か活動があれば参画・紹介する形になると思われる。

7) 他府県の情報産業団体との連携

- ・具体的にはまだ検討を行っていないが、馬場氏より岡山県が再訪を希望している旨、話があった。また、和歌山県も京都訪問の要望を持っているとの事であった。人材確保・育成に積極的な宮城県、ANIA 会長を務めている北海道も興味深いとの話があがった。

8) 会員企業への人材採用支援

- ・採用支援セミナー、会員企業への情報発信は来期も継続して活動予定。

3. その他

1) ビーネット松本氏のオブザーバー参加

- ・今回、ビーネット松本氏にオブザーバーとして参加して頂いた。来期から正規委員として参加して頂ける事になった。

2) 小林氏からの宮城県訪問報告

- ・2月に小林氏が宮城県情報サービス産業協会を訪問された。宮城県では中小企業人材確保推進事業助成金を上手く活用した合同企業説明会・業界研究会等共同活動の開催を行っている旨の報告がなされた。

4) 小林氏からの北海道訪問報告

- ・3月始めに小林氏が北海道を訪問された。北海道では、1件の横請け受注があったとの事であった。横請けと共同受注との違いなどについては今後確認の必要があるとの事であった。

3) 小林氏からの同志社大学工学部学生向けの講義サポートについての依頼

- ・以前に小林氏から依頼のあった同志社大学の工学部学生向けの講義については、個別に2企業に講師を依頼、正式に2008年後期に14回シリーズで開催することになったとのこと。最終講義日に発表会を行う予定をしており、出来ればその時に京情協企業の方も参加して講評してもらえれば嬉しいとの依頼がなされた。

以上